

一般質問通告書

通告順番 10 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 早急な物価高対策を	前回の一般質問で町民税減税を提案したが、実施は難しいという答弁であった。であれば、フードドライブやふるさと納税の収入を生活支援に拠出するべきではないか。 (1) フードドライブで集まった物資を、経済的に厳しい状況にある大学生や1人親世帯等に配布するべきではないか。 (2) ふるさと納税を使い、生活支援（米などの現物支給）に資金を当てるべきではないか。 (3) 防災備蓄品をイベント等定期的に開催し、非課税世帯に限定せず経済的に苦しい世帯に配布するべきではないか。	町 長
2 優しいまちづくりについて	県では、令和5年（2023年）3月に、「熊本県やさしいまちづくり推進指針」を策定した。高齢者、障がい者等の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例（通称：やさしいまちづくり条例）に掲げる基本方針に基づき、変容する社会の中で、高齢者や障がい者等を取り巻く意識上のあるいは物理上の障壁がない状態をめざし、誰一人取り残さないくまもとづくりを推進するとある。町としての現状や取り組みを問う。 (1) 議長や同僚議員からあった電動シニアカーのバリアフリー推進は (2) 肥後大津駅周辺まちづくり基本構想にインクルーシブな発想が必要ではないか。	町 長
3 肥後大津駅周辺まちづくり基本構想について	肥後大津駅周辺まちづくり構想の中に、大津町の顔となる肥後大津駅と町の溜まりを促す「たいりゅう滞留スポット」が連携することで町全体が駅となる大津街道駅を創出するとあるが、今大津町ではさまざまな店舗の賃料の高騰問題が起き居酒屋などの起業を考えている若者の出店を拒んでいる状況があるのではないか。少しでも改善させるため、オークスプラザ裏の楠の木広場にコンテナ横丁等の「滞留スポット」を作るべきではないか。	町 長